

JATRASにおける 児童・生徒等に対する自転車交通安全教育の取り組み

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

児童・生徒に対する自転車交通安全教育の取り組み

1. 対象ごとの教育目標と教育手法
2. 指導者の養成・支援活動
3. 自転車交通安全教育用教材・機材等の開発

1. 対象ごとの教育目標と教育手法

①教育目標

○小学生

- ・自転車に関する**基本的な**交通ルール・マナーの**習得**
- ・**基本的な**交通場面での危険予測と安全な通行方法の**習得**
- ・自転車運転に必要な技能の**習得**

○中学・高校生

- ・自転車に関する交通ルール・マナーの**再確認**
- ・**様々な**交通場面での危険予測と安全な通行方法の**実践**
- ・交通社会の一員としての責任の**醸成**

②教育手法

○実技(体験・見学型)：技能・法規走行、実車を使用した交通他者理解等

- ・自動車教習所(学校)・免許センターにおける自動車等を活用した体験・見学学習
- ・学校の校庭や駐車場における自動車等を活用した体験・見学学習
- ・体育館にコースを作成し行う自転車体験学習等(主に雨天時)

○座学(参加・体験型)：交通ルール理解と危険予測学習等

- ・自転車シミュレータやVRゴーグルを活用し、ディスカッション形式を取り入れた参加・体験型学習
- ・オンラインやICTを活用し双方向型で実施する参加・体験型学習

1. 対象ごとの教育目標と教育手法

○実技(体験・見学型)

・自動車教習所(学校)・免許センターにおける自動車等を活用した体験・見学学習



1. 対象ごとの教育目標と教育手法

○実技(体験・見学型)

・学校の校庭や駐車場における自動車等を活用した体験・見学学習



1. 対象ごとの教育目標と教育手法

○実技(体験・見学型)

- ・体育館にコースを作成し行う自転車体験学習等(主に雨天時)



1. 対象ごとの教育目標と教育手法

○座学(参加・体験型)

- ・自転車シミュレータやVRゴーグルを活用し、ディスカッション形式を取り入れた参加・体験型学習



1. 対象ごとの教育目標と教育手法

○座学(参加・体験型)

- ・オンラインやICTを活用し双方向型で実施する参加・体験型学習



2. 指導者の養成・支援活動

①交通安全教育指導者研修会の開催

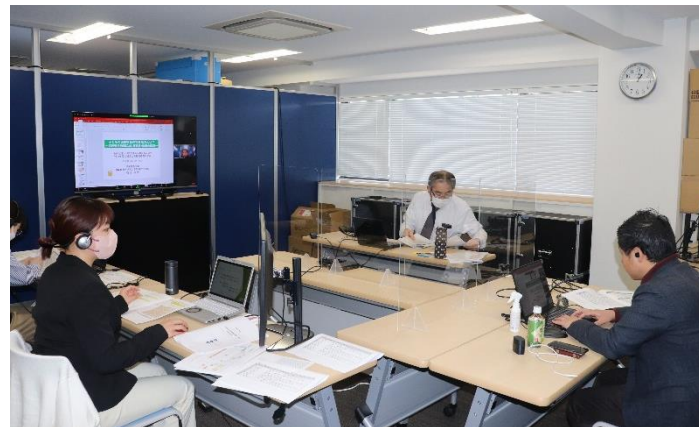
交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者の知識と技能向上、実践活動促進を目的として、有識者による交通安全教育の基礎理論、具体的な指導方法の実例、テーマ別協議等の研修会を開催（後援：内閣府）。

○内容

- ・地域で実施されている交通安全教育事例発表（事前動画視聴）
- ・学識経験者による講義
- ・事例発表質疑応答
- ・班別協議、全体協議 等

全体討議テーマ

- ①自転車ヘルメット着用の効果的な普及啓発方法
- ②高齢者を中心とした交通安全教室非参加者の指導啓発方
- ③交通安全指導における効果的な話し方、伝え方
- ④教材等の工夫による成功事例
- ⑤SNSを活用した広報啓発方法
- ⑥その他



2. 指導者の養成・支援活動

②学校における交通安全教育に関する協議会の開催

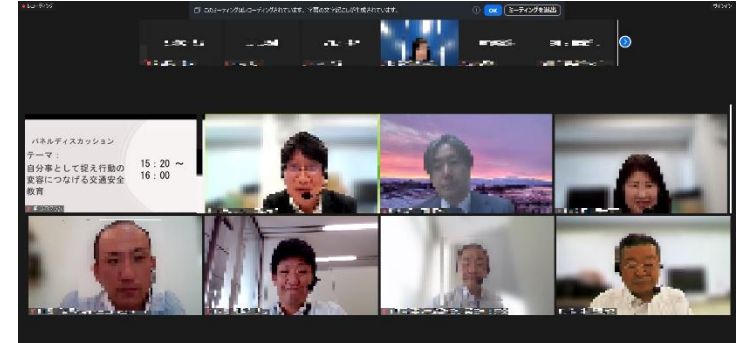
都道府県等教育委員会の交通安全教育担当者を対象に、学校での交通安全教育拡充を目的として、先進的事例の紹介や子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、情報交換等を行う協議会を開催(後援:文部科学省)。

○基調講演

- ・「これから求められる交通安全教育」

○事例紹介

- ・「『気づき・感じ・伝え合う』ことを大切にした安全教育の日常化」
- ・「中学生の自転車運転時の心の葛藤に焦点をあてた教育プログラムとDX教材開発」
- ・「高校生の自転車乗車用ヘルメット着用推進と安全意識向上を図る群馬県、千葉県、東京都の取り組み」
- ・「ヒヤリハット体験を活かしたデジタル安全マップとSTEMS教育」
- ・「子供たちが自ら主体的に考え学べる交通安全Web教材(交通安全オンライン教室紹介)」



○パネルディスカッション

- ・「自分事として捉え、行動変容につなげる交通安全教育」について

○情報交換

- ・「自転車乗車用ヘルメット着用向上に向けた取り組みの現状と好事例」について



2. 指導者の養成・支援活動

③高校生向け自転車安全教育インストラクター認定講習会の開催

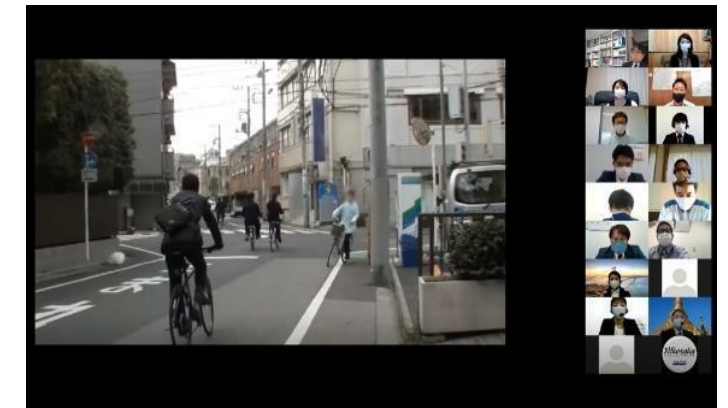
自動車教習所(学校)の指導員を対象に、高等学校における自転車安全教育の充実を目的に、高校生に対する自転車安全教育の知識や効果的手法を習得するインストラクター養成講習会を開催。

○講習内容(初級)

- ・自己理解を促すためのグループディスカッション手法と展開について(理論)
- ・グループディスカッション手法(実演)
- ・ディスカッション手法を活用した指導案作成(協議)
- ・ディスカッション手法を活用した演習(発表)
- ・高等学校における自転車教育事例紹介(e-ラーニング)
- ・屋外で実施する自転車教育の手法(e-ラーニング) 等

○講習内容(中・上級)

- ・アイスブレイクの実践(実演)
- ・傾聴技法について(実演)
- ・オープクエスチョン技法について(実演)
- ・アクティブラーニング(コーチング)技法を用いた自転車教室の指導案作成(協議)
- ・指導案に基づくディスカッション演習(発表)
- ・教育現場で実施されているアクティブラーニングの事例紹介(e-ラーニング) 等



3. 自転車安全教育用教材・機材等の開発

自ら考え、行動できる学習

何時でも、何処でも学習できる

興味関心を持ち、記憶に残る体験

アクティブラーニング手法等を用いた
双方型学習で活用できる
コンテンツ、資料等の開発・普及

オンラインやICT環境等、
GIGAスクール構想に対応した
教育プラットフォーム等の開発・普及

シミュレータ、VRゴーグル等の
最新のIT技術を活用した
交通安全機器の開発・普及



- ① 本教材のねらい
- ② 教材の内容
- ③ ディスカッションの進め方
- ④ 映像を用いて学習する際のポイント
- ⑤ 時間別の学習プログラム
- ⑥ 自転車安全運転講習会 カリキュラム例

(資料) 自転車の基本的な交通ルール

(資料) 自転車を安全に利用するために

(資料) 交通事故を起こしてしまったら

